



1 学期終業式校長のはなし

学校長 森本 信一

時間の関係で1学期終業式の校長のはなしを全て伝えられなかったことから、学校だよりに掲載することを生徒と約束しましたので、書かせてもらいました。ご容赦ください。

4月6日にスタートした1学期も、早いもので本日が終了となります。1学期の授業日数は、1・2年生は74日、3年生は75日を数えました。

さて、1年生は小学校から中学校に入学し、環境が大きく変わりました。学習面では、教科ごとに先生が替わり教室を移動することも多くなりました。入学当初、緊張した学校生活を過ごしていましたが、5月の集団宿泊学習を過ぎたあたりから学校にもだいぶ慣れてきて、自分らしさが出せるようになりました。

2年生は先輩と後輩のパイプ役として、部活動や生徒会活動など積極的に取り組んでいました。5月の修学旅行では、平和学習やグループでの行動など、皆さんの前向きな取り組みによって充実した内容となり、大きな成果をあげることができました。皆さんにとっても自信になったことだと思います。

3年生は最高学年として、下級生の見本となるリーダーシップを発揮してくれました。皆さんが受け継ぎ発展させてきた串木野中学校の伝統を、今後は1・2年生にしっかりと引き継ぐことを意識しながら学校生活を過ごしてもらいたいと思っています。また、職場体験学習では、それぞれの事業所において、学校で見せる顔とは異なる真剣な表情で主体的に取り組む様子が見られたと3年部の先生方から報告を受けました。この体験は、今後の進路決定にも繋がるものだと思います。

いよいよ明日から、42日間の夏休みが始まります。

3年生にとっては、今までとは違う夏休みとなります。そうです、自分の進路に向けて、まっしぐらに突き進む、熱い、熱い夏休みになります。「なんとかなる」のではなく、「なんとかしなくてはならない」夏休みです。実力を身につけなければ進路は拓けません。

1、2年生は、それぞれの1度しかない夏休みに、しっかりと目標を持って全力投球してください。

さて、この夏休みの生活で、心掛けてほしいことを3つお話しします。

一つ目は、「怪我をするな、命を落とすな」ということです。毎年夏になると心配なのが、水の事故です。海や川で毎年のように亡くなる方が多いです。決して遊泳禁止場所で泳いだりすることがないようにしてください。また、季節にかかわらず多いのが交通事故です。特に、自転車による事故が多発しています。交通ルールを守ることは、自分の命を守ることに繋がります。さらに最近の特長は、事故の被害者になるだけでなく、自らが加害者になる例も増えています。一人も事故にあわないように、細心の注意をはらってください。ノーヘル、並進、信号無視などのルール違反があった場合は、厳しく指導していきたいと思っています。

二つ目は、「誘惑に負けない」ということです。夏はどうしても開放的な雰囲気になりがちです。世の中には、様々な好ましくない誘惑がみなさんを待ち構えています。その時、自分の弱い心にストップをかけられるかどうか、極めて重要となります。特に、携帯・スマホの正しい使い方について、昨日、講師を招いて、具体的な講話を聞いてもらいました。トラブルを起こしたり、巻き込まれたりすることがないようにしてください。そして、世の中には守らなければいけないことが沢山あります。「駄目なものは駄目」、「誘惑に負けない」生活を意識していきましょう。

三つ目は、「規則正しい生活を送る」ということです。夏休みは、一定の生活リズムのもとに過ごす普段の学校生活と違い、自分で自分の生活をコントロールしなければいけない期間です。この長い夏休みが、充実したものになるかどうかは、明日からの1週間の生活で決まると言ってもいいでしょう。まだまだ明日があるさ、などと思っている人はすぐに2学期を迎えてしまいます。この最初の1週間が勝負です。早寝、早起き、朝ごはん、規則正しい生活をこころがけてください。

2学期の始業式では、一段と遅くなった皆さんが、たくさんの満足を抱えて、元気に登校してくれることを楽しみにしています。

以上で、1学期終業式のお話しを終わります。